

# わかやま母親通信

生命を生み出す母親は  
生命を育て  
生命を守ることをのぞみます

第105号 2023年7月1日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内  
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール：w\_haharen@wkn.or.jp

HP 和歌山県母親大会

## 第67回和歌山県母親大会 in 田辺市(於:Big・U)を開催

私たちは、だまされない あきらめない 立ち止まらない で、  
しなやかに したたかに しびとく 歩み続けます

梅雨入り間もない時期の大雨で被害に合われた皆様方に、お見舞いを申し上げます。そして、再び大雨が予想される中、第67回和歌山県母親大会 in 田辺市を迎えました。前日の現地との合同実行委員会では、「どうする私たち」と意見を出し合い、「明朝6時の時点で判断」することを決めて散会しました。おそらく、実行委員の誰もが天気予報に一喜一憂しながら、朝を迎えたことと思います。各地から参加されるみなさん方も、それぞれに心配されたことでしょう。

そうして迎えた4年ぶりに地域開催される母親大会！見学を含め全分科会が無事実施されて良かった！そして、午後の全体会は、地道な要求運動についての発言に元気をもらい、うたごえオールスターズとうた仲間&あすなろのみなさん方の澄み渡る歌声とナレーションに心から感動しました。私たち実行委員も、この期間の諸準備の忙しさや心配事が吹っ飛んでしまいました。会場中が一体感に包まれた熱気の中で閉会となりました。この感動を力に、明日からさらに多くの人に語りかけ、「戦争しない未来を創る」輪を広げていきたいですね。

**全体会風景** 国賠同盟 Nさんから提供していただいた写真です。感謝。



## 《全体会の感想から》

各地の運動交流の発表がとても良かったです。地域で要求実現のため運動をして、より住みよい社会にしていく、私たち住民の不便さ、困りごとは、自ら訴えて要求実現していかないと放っておかれます。そして、LGBTQのMさんの訴えは、今まさに問題になっている結婚の自由、ジェンダー平等社会の実現のため、法律を変えていく喫緊の課題です。一日も早い解決(法律の制定)を願います。



舞台では合唱団あすなろも加わって

歌いながら考える平和・憲法。オールスターズ、あすなろの歌声は心にしみました。説明を加えながら構成されたものに、音楽の力を感じました。平和を守り抜きたい。

日高 T

各地の運動交流で、みなさんの運動を知りました。粘り強い運動が、要求実現に欠かせないものであると、あらためて認識しました。

うたごえオールスターズの歌はよく聞きますが、今回はあすなろさんと一緒に、より美しく力強く優しい歌声がパワーアップしました。平和や故郷への想いが身に沁みました。ハイブリッドの運営は大変だと聞きます。ご苦勞、お察しします。和高教 S



## 分科会の様子は、次号で詳しく伝えます



# 大会宣言

「<sup>いのち</sup>生命を生みだす母親は <sup>いのち</sup>生命を育て <sup>いのち</sup>生命を守ることをのぞみます」の一つの想いで結ばれて、母親大会は69年歩み続けてきました。

本日の第67回和歌山県母親大会は、4年ぶりに地域で開催することができました。さらに、今年もオンライン視聴を取り入れ、新しい参加の形が広がっています。

母親大会は、「核戦争から子どもを守ろう」と行動をはじめ、「平和」「子どもの幸せな未来」「日々の平穏なくらし」「女性の地位向上」を求めて歩み続け、多くの願いや要求を実現させてきました。そして何より憲法9条を力に「他国と戦争しない年月」を守り続けたことを心から誇りに思います。次の世代にも、この9条を無傷で手渡したいと願います。

コロナパンデミックの3年間は、マスクで沈黙し、誰も彼も不自由な生活を余儀なくされてきました。憲法を生かし平和・くらし・環境を守る運動、核兵器禁止条約を広げる運動、ジェンダー平等社会へ進める運動に、大きく取り組めない日々が続きました。

さらに、ロシアのウクライナ侵略戦争は、早期終結には至らず長引く様相になってきており、世界中の経済の混乱と分断の広がり、スーダンやアジア諸国での紛争や対立の深まりに、暮らしにくさ、息苦しさ、理不尽な思いが募るばかりです。

それでも、身近なくらしの要求である生理用品の無料設置や学校給食の無償制度、子ども医療費無料制度の18歳まで引き上げなど地道に要求し続け、各地で実現させてきました。そして、何より「ウクライナ侵略止めよ」の声を上げ、「憲法9条を守ろう」のスタンディングを各所でやり通してきました。

今、「国防」に名を借りて、日本国憲法が許していない「敵基地攻撃」の装備やそのための大幅な軍事費増大、米軍との軍事演習があからさまに強められています。それは、まさに国を焼土にする「戦争への道」にほかなりません。憲法9条を持つ日本にとるべき「平和の道」は、国民本位の政治と友好的・平和的国際関係づくりであることに確信をもち、「日本を新たな戦前にしない」の声を大きく広げましょう。

私たちは決して、「だまされない あきらめない 立ち止まらない」で、

「しなやかに したたかに しぶとく」声を上げ続け、歩んでいきます。

今日の分科会で話し合われた願いや願いを大切に、全体会での交流や歌声を力に、地域で、職場で、グループで、粘り強く要求運動を進めましょう。

来年は、「第69回日本母親大会 in 和歌山」が開催されます。全国から和歌山の地へ、運動の成果と貴重な意見を運んで来てもらいましょう。そして、和歌山の運動の歴史と現時点の要求運動を大いに語りましょう。大会を大きく成功させ、平和の輪を確実に広げましょう。

2023年6月11日 第67回和歌山県母親大会

## 「第 69 回日本母親大会 in 和歌山」の成功に向けて②

### ◎和歌山県母親大会のこれまでの歩みと新たな決意 3/3回目 2023.2.18

この間の県大会の取組み方を経て、「時代に合った」「時代に求められる」母親大会とは、「地域に根ざした」「だれもが元気になる」母親大会であることが確信となり、この年から、それを、大会コンセプトにして取り組むこととなった。

2019 年第 64 回 in 橋本市

新たな加盟団体として、「学童保育」が参加し分科会では実のある話し合いができたし、「憲法カフェ」や「親子工作」、そして「社会保障」の分科会では、認知症の方が助言者を務めるなど、まさに「地域に根ざした」手作り感あふれる分科会づくりができた。

2020 年第 65 回 in 有田川町(延期)

ここでも味のある現地中心の分科会が計画できて、素晴らしい大会になるはずであった。ところが、突然始まった新型コロナパンデミックで、頓挫してしまった。

2021 年第 65 回 in 有田郡市(中止)→郡市母連での DVD 上映(全体会のみ)大会となった。

県で西郷南海子さんの講演録画を行い、そのDVDを使い郡市母親大会を開催した。

2022 年第 66 回(県主催)

次の開催予定郡市の西牟婁もまだ担えないということで、県主催・オンライン併用で 5 分科会と全体会で 200 名余という規模で開催した。

2023 年第 67 回 in 田辺は、規模 350 名、10 分科会とし、困難な状況でも見学分科会などで地域の特徴を生かし準備し始めているところである。(6/11 に無事開催)

しかし、コロナが収束せず感染流行が長引く中で、どの地域でも組織体力が弱まっているのが実情であり、「地域に根ざした母親大会」の形を追求することは困難と言わざるを得ない。

「地域に根ざした」手作り感のある母親大会で、和歌山県の母親運動の新たな方向性が見え、その積み重ねの上で、和歌山県初の日本母親大会を開催することが理想であったが、それは叶わない。その現状を踏まえた上で、「初めて和歌山で日本大会を開催する」ことへの取組みを通して、より幅広い運動を生み出していけるか、和歌山県の母親運動の足腰を鍛え直し、次の世代の担い手が育つ結果に繋げられるか…である。

力を合わせ、知恵を出し創意工夫しながら、できることを積み上げていきましょう。やるっきゃない！